



やさしい
下呪の縛り方

R-18

Restricted to 18 years or older
Presented by OVERDOSE / Yachi Hashiba Kotomine x Gilgamesh

令呪 _____

聖杯からマスターに与えられる
自らのサーヴァントに対する
3つの絶対命令権



その一画一画は膨大な魔力を秘めた魔術の結晶である



抑止の輪より来たれ

天秤の守り手よ！

また単なる「命令の強制」だけではなく、令呪に宿る魔力はサーヴァントの行動を強化したり、純粋魔力に変換してガソリンとすることも出来る

言わばサーヴァントにとっても令呪は「切り札」となりうるものである

そういったメリットもあることが、サーヴァントが招かれるにあたって令呪を拒否せず受け入れる要因となっている



子供の頃からずっとずっと
考えていた

問おう
貴様が我のマスターか

私の喚び出すサーヴァントは
一体どんな英霊なのかと

王...



赤く発光するコランダム

私の王よ…

冷たいルビーのような瞳に
心ごと吸い込まれる

令呪の強制力は、命令した内容が明確であったり
瞬間的であれば強くなり
曖昧であったり長期間に渡る命令であれば弱くなる

数日前

造反の相!?

ハッ

はい…

恐れながら
時臣師よ…

私が卜占術を
使ったところ…
不吉な予兆が出まして

少々気になったので
アサシンの中で
未来予知に長ける者に

この戦端を
占わせたのです

端的に言うと…今
師が聖遺物を取り寄せている
英霊は
師と相性が悪い可能性が
あります

…です。師には
サーヴァントに対し
最大限の用心をしていただきたく
思っています…

……
なるほど……
あり得ない話
ではないな……

たとえ
最強のサーヴァントを
喚び出せたとしても…

『相性』——
それはあるかもしれないな…

過去の聖杯戦争では
マスターが死亡した
「はぐれサーヴァント」が
別のマスターと
再契約した事例も——

ありがとう
綺礼

その件についても
万全の対策を練るよ

……

私の忠告を
聞き入れた
師は——

召喚早々
この
サーヴァントに
令呪をかけた——

セット
Anfang...!



令呪に告げる—— 聖杯の規律に従い、 この者、我がサーヴァントに
Vertrag.....! Ein neuer Nagel Ein neues Gesetz

戒めの法を重ね給え——
Ein neues Verbrechen——!



王よ：
英雄王
ギルガメッシュよ…

貴方は
私を決して
裏切ってはならない。

やさしい令呪の縛り方



退屈だ……

市井に処女でも
抱きに行くか……





どうなのだ綺礼とやら？
お前もあの時臣めに
奉仕するばかりで
心満たされてるわけでは
ないのだろう？

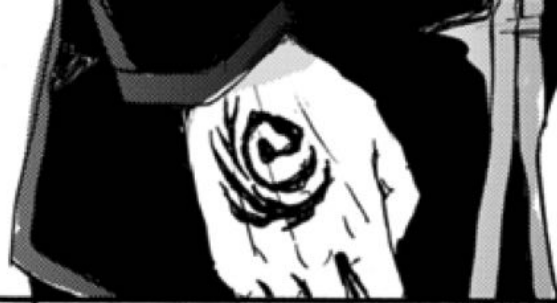


退屈を持って余している者が
我の他にもいる様子
だったのでな…

退屈？



一体
何の用だ？



今更
 契約が不服に
 なったのか？
 ギルガメッシュ
 ……



あそこまで
 退屈な男とは
 思わなんだ

大きく出たな
 時臣……!!!

この英霊は禍々しい笑みで
 私に『愉悦を識れ』と説く――



まるで
 試すように――

綺礼……



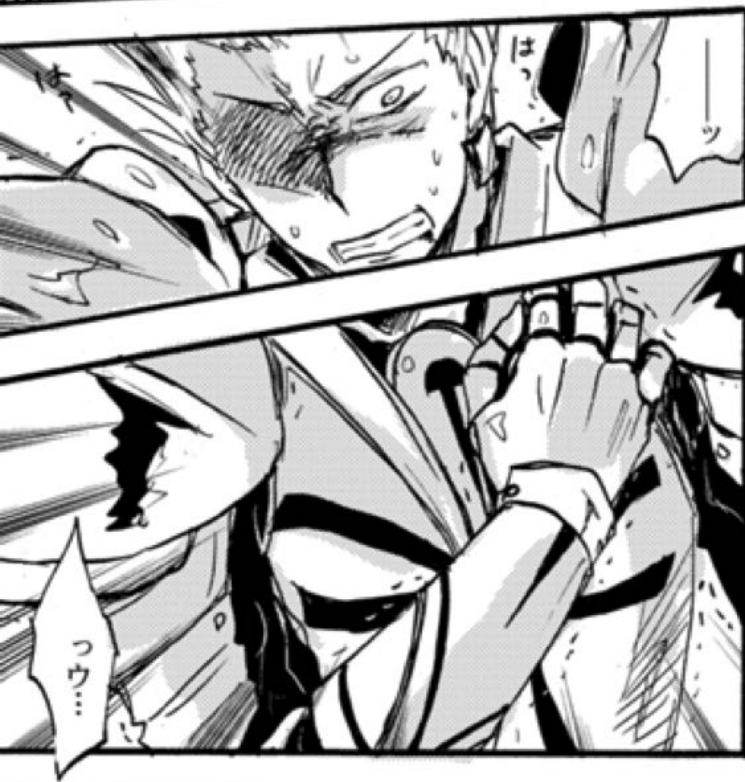
「裏切るな」——
最初の令呪をかけられた
アーチャーに
浮かんだのは
確かに「怒り」で

貴様！
王に令呪を
かけるなど——

勿頭に
値するぞ——

どのようなものであれ
あの男が
自我を縛られるのを
赦すはずもなく——

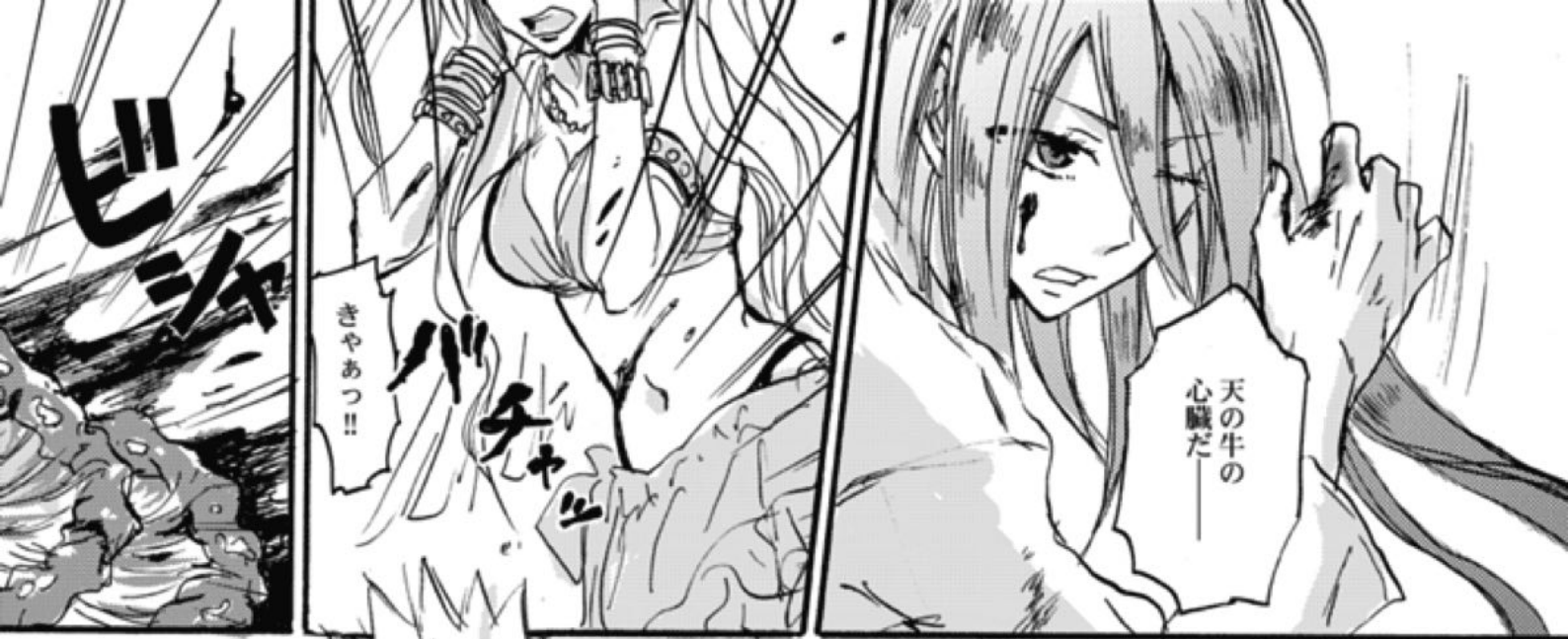
だがしかし 早速展開された
宝具が放たれることはなかった——

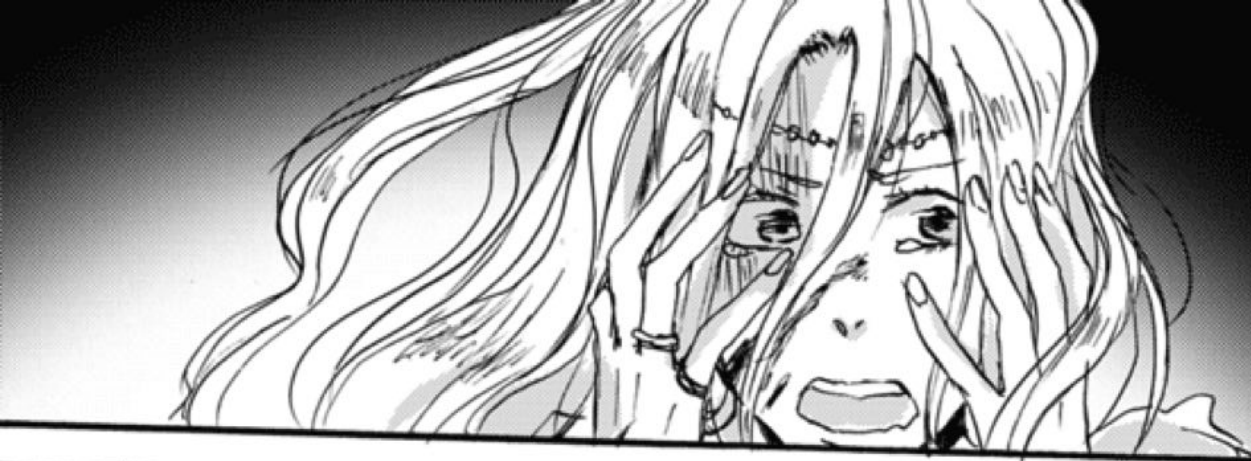


あんな大雑把な命令
だったのにも関わらず——
令呪は確かに効いていた

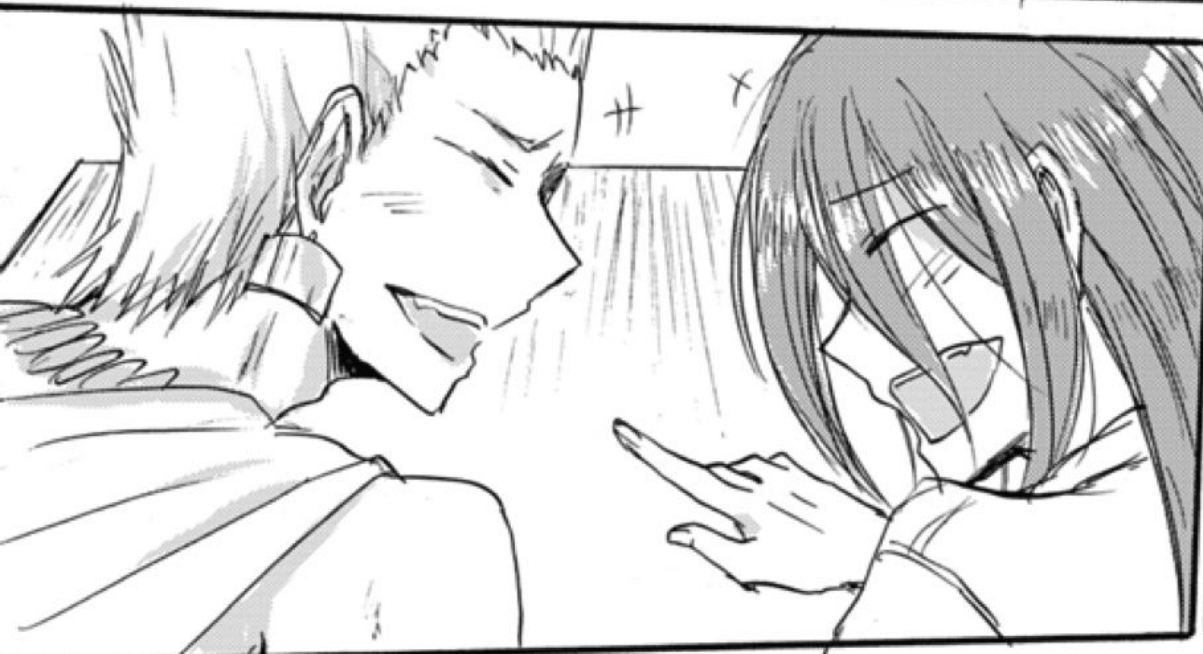


ウウッ...





~~~~~  
っ!!



あんたたち  
おぼえてなさいよ!

誰かに  
自分の命を  
握られるのは  
切ないね…

ねえ  
ギル…

ねえ  
あの広場での  
決闘の続きがしたい  
ね

まだまだ  
君と共に

冒険したり喧嘩したり  
したかったな

弱気に  
なるなよ



僕は  
神に造られたのに

「お前など  
死んでしまえ」と  
切り捨てられたのだ

エル：  
大丈夫：  
大丈夫だから

気をしっかり保て

我は  
ここにいてやる

.....

そうだ  
思い通りにいかないことなど  
慣れている――







この私の  
行動を制限するなど...

時臣め...

っ

曖昧に使われた令呪だというのに  
時臣に楯突こうと考えただけで  
身体に不調が走る

目が



えう...

今宵の仕儀は  
今後に備えた  
露払いでございます

斯くして  
英雄王の威光を  
知らしめた今



臣下の令を  
取ってはいるが...  
あの男...

生理的に  
気に喰わん...

英雄王よ...  
物見遊山を程々にして  
頂きたいのは本音ですが...  
私は認めうる限り最大限に  
王の意志を尊重  
しましょう

ですが王はとりわけ高い  
単独行動スキルをお持ちだ  
それ故にひとつだけ縛らせて  
頂きました...  
どうかお許しを.....



支配される感覚には悪寒がする

いっそトオサカの走狗として  
従ったら――



何を  
馬鹿な……

時臣の魔力は良質だ  
この身の現界を保っているのも  
あやつの供物によるもの――



王の中の王よ

別に率先して  
裏切りたいわけ  
では無いが……  
行動が縛られるなど  
度し難い――



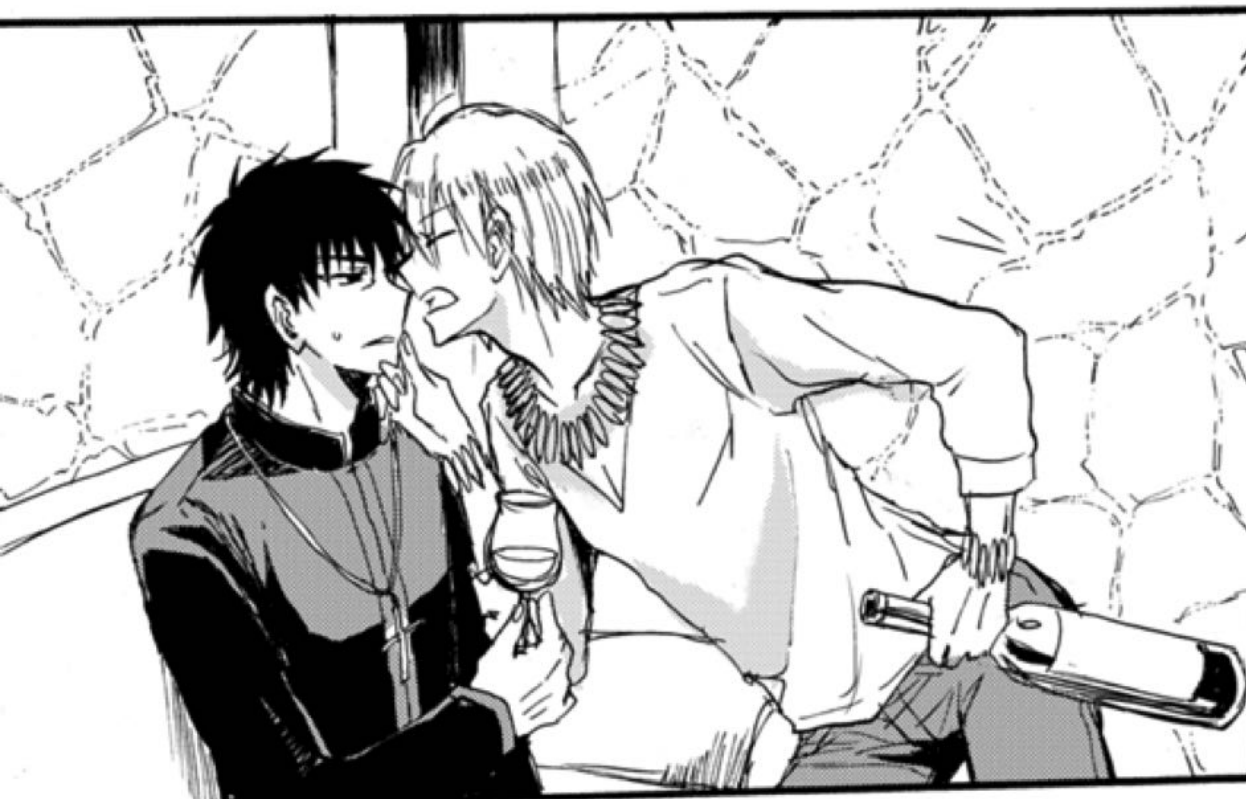
フ……

ガァー



私の部屋に  
何度も  
入り浸っては

まるで  
試すように



—これは  
師への裏切りにあたるの  
ではないのかね？

ズキ





充血がすごいな…  
痛むか？



……ハハ

そのようだなア…

体が——  
言うことを聞かぬ…



そもそも鶏姦は  
神への冒瀆だ…

体液交換は魔力供給の  
意味を持つからな…

令呪が発動するのも  
致し方あるまい

誘いには  
乗らんよ…



ここにきて  
いるだけで  
身体が  
重いのだ…

能力値の  
ランクも  
総じて  
落ちるな…

時臣め…  
嫉妬深い  
男よ…



ははは  
英雄王ともあろう者が

形無しだな

貴様……！

時臣……ッ

いや本当に…  
お前と話すほどに…

事前に師に忠告して良かった  
と思うよギルガメッシュ…

なんつ…  
だと…!

貴様が元凶か!!

……私は  
師の協力者だぞ?

もとよりお前の  
造反の相が  
出ていてな

だが  
私を殺すのも  
裏切りに

チッ!

どさ

……ふっ…

——しかし  
予想以上の効き目  
だな…

ああ…アーチャー…  
お前のパラメータは  
対魔力が低いのだった  
か…

無礼だぞ  
痴れ者が!

※対魔力:C(四次)

令呪の発案者は間桐だ…  
「支配」の魔術はマキリの  
専売特許だからな…

遠坂の得手では無いのに  
これほどとは…  
師の魔力貯蔵量がプラスに  
働いたのか?  
素晴らしいことだな…

みせい…





師は準備周到な割に  
ここ一番でミスをする  
悪癖があるからな…

私が気を配るのも  
務めだ—

フン…  
綺礼よ…  
時臣の弱点を  
我に伝えるのも

裏切り  
ではないのか？



…なぜ  
そうなる？

お前もそれを  
フオローする立場  
だろう？



我が造反を  
企てている  
かもしれないと

言っているのは  
貴様の方では  
ないか

なア

綺礼よ…



まあ良い  
女でも抱きに  
散策してくる…

今後も酒の面倒は  
見に来るぞ

夜遊びは  
裏切りに入らないん  
だな…  
性根でも移されて  
くれればいいのに！





恐れながら綺礼様…  
言動にはもう少し  
ご注意を…

ああ…

危うく  
犯されるかと  
思ったぞ…

綺礼様  
この件—  
遠坂への報告は…

……

し—  
ないでいい

アーチャーのことは時臣師には伝えたくない—  
これは既に<sup>はんい</sup>叛意ではないのか——？



アーチャーはこの部屋に来た時点で  
昨夜 私が時臣師の意図から離れた行動を取ったことを知っていた



生前は  
不老不死を求めて  
彷徨ったものだが…

自ら出向くなど  
久々だな…



問桐藏硯…  
貴様に用がある

カカカカ  
呵々々々  
これはこれは…

珍しい客が  
来たものよの…

ワシのせがれが  
一番に貴様を狙っていると  
知ってのことであろうな？

何の用じや  
アーチャー…？

生憎せがれは  
留守中だぞ？

あのような狂犬に  
不覚をとる  
我ではない！

そも貴様の息子は  
既に  
死にかけてはないか  
私の敵ではないぞ？

令呪について  
聞きたい

無論  
タダとは言わぬぞ

令呪の解除法？

ホッホッ

アレはワシが  
考案したが…  
そんなものはないぞ

発動後は  
手遅れじゃ

なんぞ貴様  
ずいぶん奔放と聞いたが  
トオサカに『絶対服従』の  
命令でも下されたか？

フザマよの！

カッ  
カッ  
カッ

黙れ  
老いぼれ！

仲間割れなら  
大歓迎じゃぞ  
アーチャー？

此度の  
余興が面白くなる  
のオ…

ワシは  
今回の聖杯戦争に  
雁夜が勝ち残れると  
思うほど着録しては  
おらなんだ

筋書きが  
愉快になるなら  
協力も惜しまんぞ  
アーチャー

フン  
外道め…

たった一画の  
令呪の曖昧な命令だと  
いうのに…

ことのほか強制力が  
強いのだ…  
なんとかならん  
のか？

正直  
ここに居るだけで  
酷い体調だ…

ホッホ…  
そこにひれ伏して  
頭を下げたら  
ヒントをくれてやろうか？

私は  
挑発には死を以て  
遇するぞ

カカカ…こわいこわい…  
まだまだ青いのう！

知っての通り  
遠坂の魔術は火の属性の  
宝石魔術やらガンドやらだった  
はずだが…「支配」は専門外じゃ

それでもなお  
縛りが強いと言うならば  
…なにがしかの魔術が連動して  
令呪を強化しているのではないか？

連動…？

まんじゅ  
キャスト  
オフ



そうじゃな…  
たとえば… 遠坂から  
何か宝石の貢ぎ物を  
貰い受けてはいないか？

それを常に身につけて  
いたりはないか？

呪いの強化には  
うってつけじゃぞ

……



王よ！  
あなたの瞳の色によく似た  
ルビー・ブラッド  
鳩血紅玉です  
どうぞお納めください



いらん

おー  
おー  
おー

ああつ

ひん…  
あ…  
あ…



…フン…  
ルビー  
紅玉のピアスカ…

……ム…  
不穏な魔力…

時臣め：  
アレにはそんな下心  
あつてのことか…

更になにかを  
付加しようとして  
いたな…

……となると  
他に  
思い当たるのは—



老いぼれよ  
世話になったな

礼に  
一時的に若返れる  
秘薬を賜わす

ホッホ…  
これは僥倖  
じゃのう！

せいぜい戦況を  
掻き回して…

せがれが苦しむ姿を  
じっくりと  
ワシに見せてくれ

ハ…  
ゲスじじいめ

カッカッカッ  
爽め言葉  
かのう？

可能なのか——？  
眼球を<sup>いし</sup>宝石に見立てて？



遠坂の魔術系統の「転換」の発展系か  
魔力を別の物に移して定着させる



令呪の力で  
しばし気を遣った  
からな！  
あの時か——

サーヴァントは睡眠を  
必要としないが——  
時臣に刃を向けた直後



数十年分の魔力を  
眼球に移植——？



ああ：  
なかなかどうして  
見所が出てきた  
ではないか

目玉を抉れば  
令呪が弱まるとでも？

ハハハ

やってくれたな  
時臣め

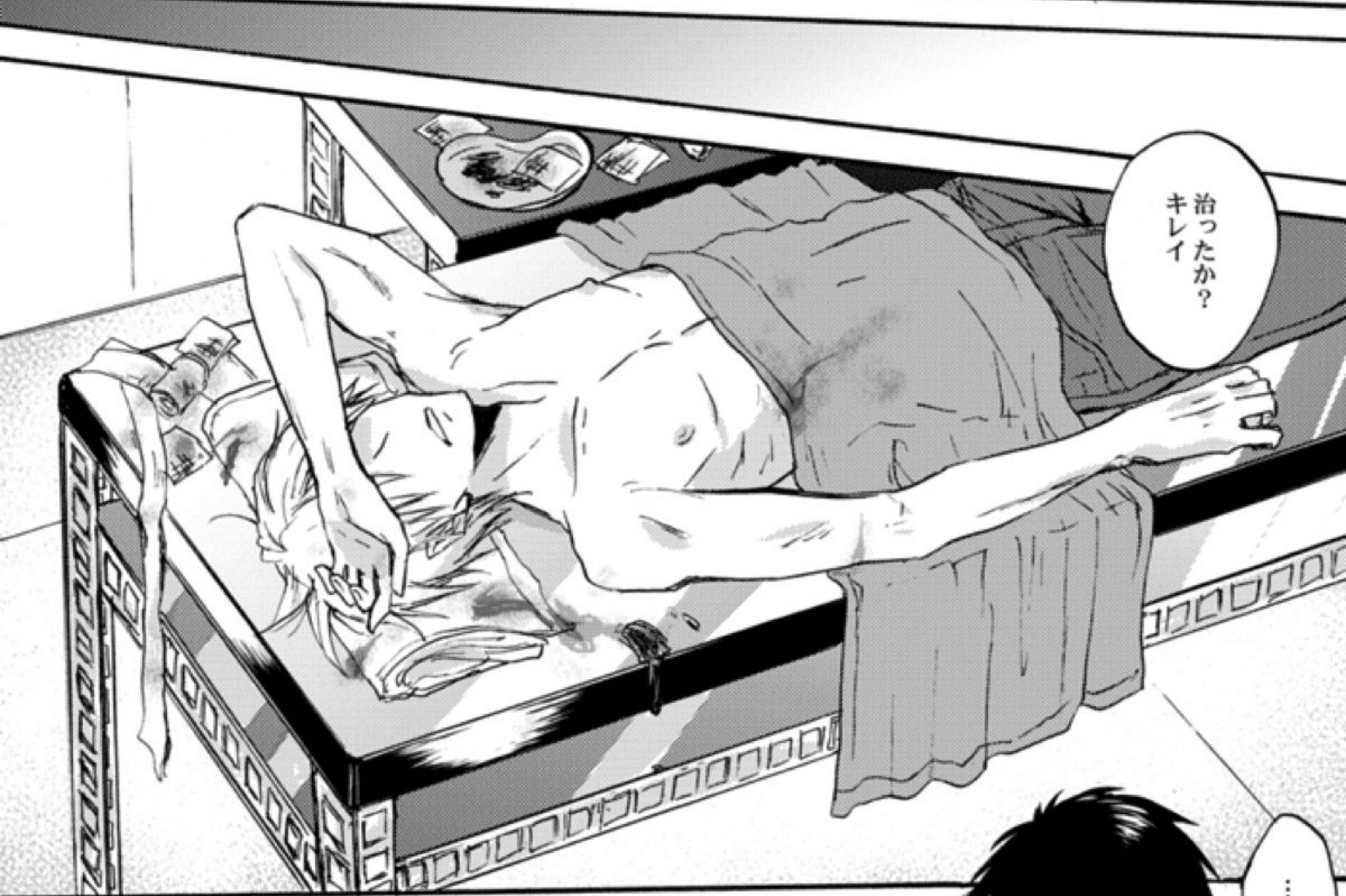


あの日――  
師の令呪の  
最後の一画が  
サーヴァントの  
「自決」に  
使う物だと  
語ったところ……

アーチャーと  
私は初めて  
笑みを  
交わした……

もとより  
飛行機の予約など  
しておりませんので――





治ったか?  
キレイ



あと  
背が痛いぞ  
もう少しまともな  
寝台は無いのか  
たわけ!



まぶしい  
ぼやける...



とりあえず眼球は  
嵌め直したぞ  
英雄王  
光は見えるか?

.....



—それなら  
そのうち  
馴染むだろう

ひとまずは  
成功だろうな…

目は冷やして  
おけ

英雄王ともあろう者が  
随分と無茶を  
するものだ……

師を「見殺し」にすることは  
大いに裏切り行為だ——  
策を講じねば私の命は無かっただろう

アーチャーの  
提案……

私の両目を抉れ——

我とて  
苦痛は大嫌いだ

連動が解けて  
多少令呪の縛りが弱く  
なろうと……  
どこまで呪縛に抗えるかは  
運次第だぞ？

一歩間違えれば  
我に殺されるのは  
貴様だからな……綺礼

タイムトライアル  
というやつだ

覚悟して  
臨め……

正直驚いた

あの  
ブライドの高い  
傍若無人の王が  
私に命運と身体を  
預けるなど……



ひどく痛むのだ…  
疾く魔力を献上せよ



なんだね  
ギルガメッシュ



綺礼  
こちらへ来い



やめろ  
もう令呪はこりこりだ



痛み止めが  
足りんなら

預託令呪の魔力も  
治癒に使うか？



これでやっと  
存分に貴様に  
触れられる

………寝室で  
いいか？

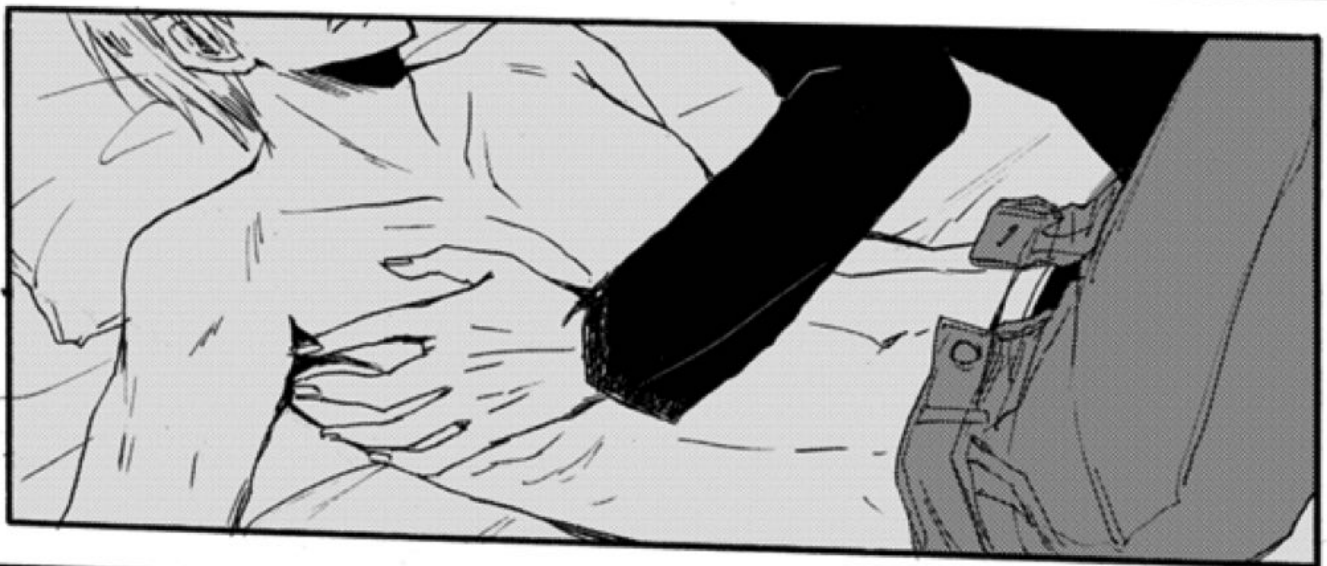
どうした随分  
甘えただな

我は  
病み上がりだぞ



やめろ  
こそばゆい…

えろ



ギルガメッシュ  
……

神に仕える  
この身ゆえ…  
男は初めてで  
勝手がわからない

なんだ貴様  
そんなナリで  
童貞か？

ちがうハ



女のようなぞ

…ふん  
なんだ？  
乳首の方がいいのか？

煩い

眼球でも  
舐めて  
欲しいか？



なんだ  
いきなり  
そちらか？

…そうか  
それなら足を開け

んっ

ハハッ



げん

…舐めろ  
綺礼



ぎゅ

っあ



すっ  
すっ



ぎゅ  
ち

んっ

英雄王よ  
こちらかね？



殊の外  
心が昂ぶるな

お前は反応がいい

ハハ

半

ハハハ

すっかり  
血に飢えた  
獣の目だな…

コトミネ

貴様の高揚は  
先程からであらう…？

私の目をえくり  
時臣を殺し—

ふふ…

己の傷をぶち破って  
膿を出した—  
—さぞ  
楽しかろうて

英霊だろう？  
少しくらいの痛みは  
我慢出来るな？

—ツツ

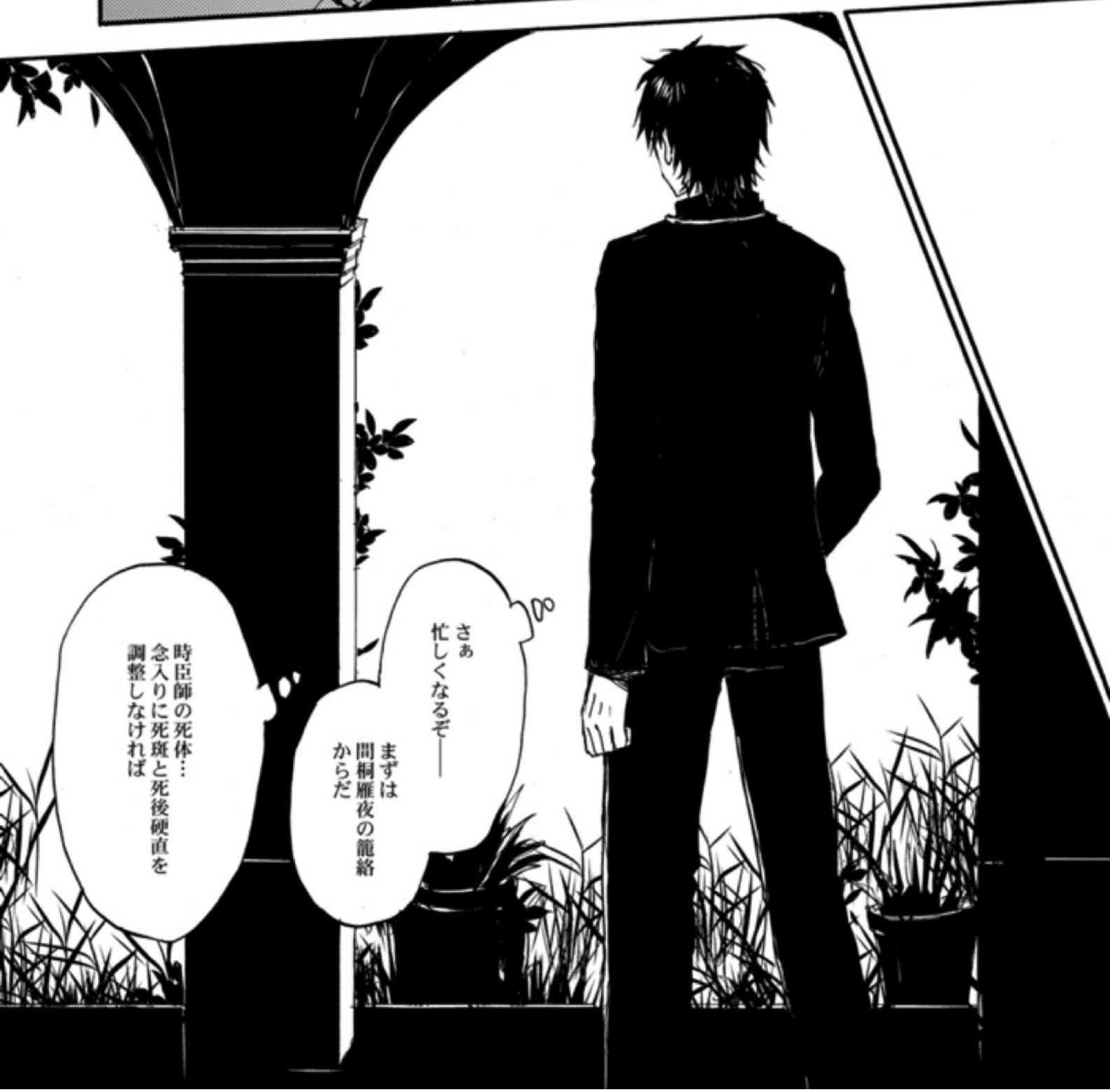
んんっ

もういい  
黙れ

ジュジュ

うっ…ん





さあ  
忙しくなるぞ――

まずは  
間桐雁夜の籠絡  
からだ

時臣師の死体……  
念入りに死斑と死後硬直を  
調整しなければ



わざわざ  
我が身を裂いてまで  
再契約してやった  
のだ――

美味しい肴を  
用意しろよ――

そして我の道化<sup>マヌケ</sup>として  
存分に踊れ――綺礼!







R-18

# やさしい呪いの縛り方

Restricted to 18 years or older  
Presented by OVERDOSE / Yachi Hashiba Kotomine x Gilgamesh

時臣

時臣…

まひやく  
時臣が欲しい…

英霊は夢を  
見ないのに—

おかしな夢を  
見た—

最後まで  
遠坂に尽くす  
夢だ—

私の王よ

これは呪いか—？

令呪を以て命ず  
王よ… 英雄王  
ギルガメッシュよ—

あの日から  
忌々しい令呪は  
発動していた—

私を  
好きになっ  
てください—

それは『支配』ではなく  
『魅了』の魔術—  
相手を操るのではなく 強烈に 惹き付ける—

それは或いは  
平行世界の  
別ルート—？

これは  
ないな…



そう…  
自害  
するまで





してやられたな  
時臣め……

退屈な男だが……もし  
それだけの甲斐性が  
あったの  
ならば……或いは……

我がまるで  
初めて恋を知る処女の  
ようではないか——

はち  
ち



フフフ…  
莫迦め

トキオミ…  
トオサカ  
トキオミ…



爽美に  
記憶に留めておいて  
やろうではないか  
僥倖だろうか？

英霊の座より  
我を召喚した  
元・マスター  
遠坂時臣よ——





英雄王よ…

お前の眼窩は  
気持ち良かった…

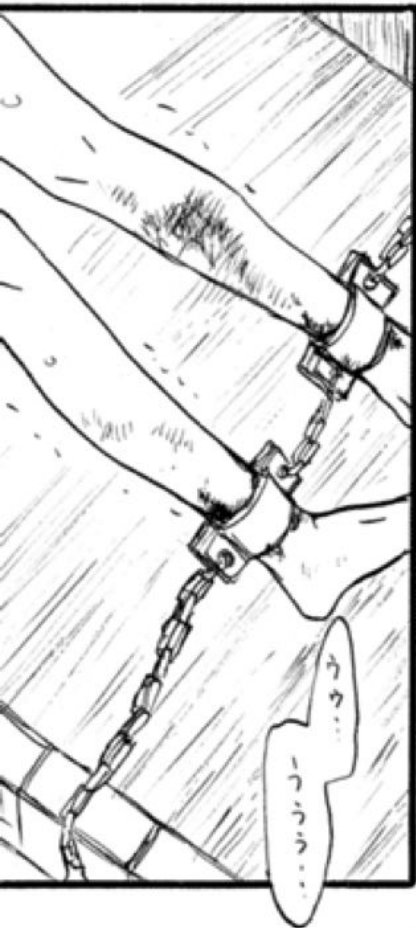
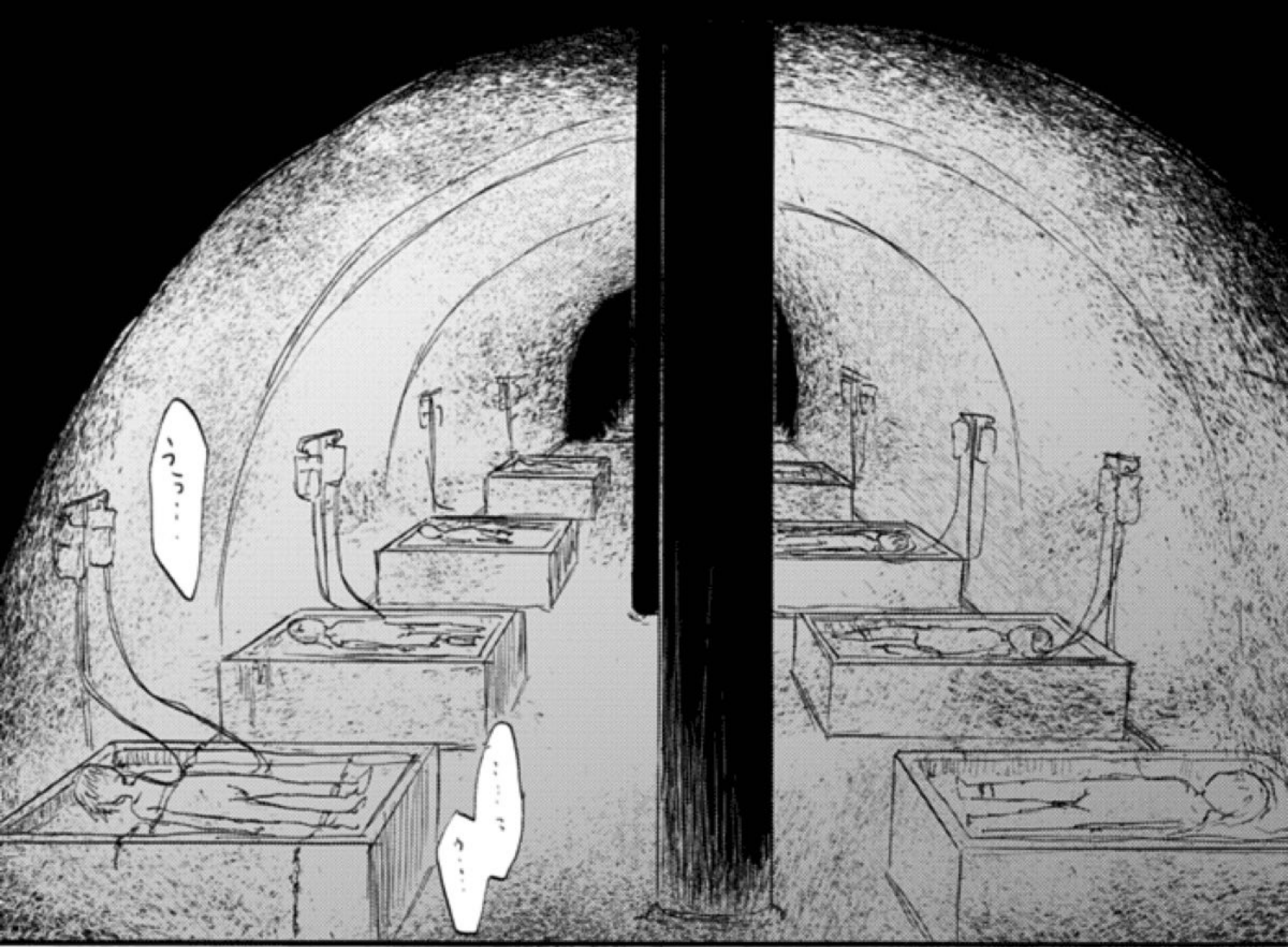
死ねエ!!!

また  
決らせてくれ  
ちゃんと拍すから♡

ラブラブ♥END

いちいち  
いちいち  
ちち  
ちち  
そそ  
そそ  
うう  
うう

※注意※ Fate/stay nightのネタバレを含みます。大したことはありませんが、ほんの少しだけグロテスクな表現があります。







虫が湧きかけて  
いるぞ

見よ

人に群がる虫は  
嫌いだ

そうか？  
それならば  
切り落とすか？



綺礼  
ここを地下墓地に  
するならば…

もう少し  
清潔にして  
やったらどうだ？



第一  
この部屋は  
カビ臭くてかなわん

魂は  
王の食料なのだぞ？  
こんな下劣な環境で  
生産するなど  
度し難い



らしくもない…

そんなに彼らに  
情がわいたか？



『清潔にして、やったら  
どうだ』…か…

ずいぶんと  
子供達に肩入れ  
するのだな  
英雄王



勘違いするなよ  
綺礼  
我は子供が  
好きなのだぞ？



子供の魂の嗅きは  
口に合わないかね？



この小娘など  
我によく懐いて  
おつた

そら  
貴様には  
「ライナスの毛布」くらい  
与えてやろう

存外  
優しいのだな  
お前は



数日とは言え…  
あれだけ我が  
面倒を見てやったのだ！  
可愛くないワケがなからう？



馬鹿を言え！

幼子の絶望はな

とろけるように  
甘いぞ？



このサーヴァントにとって  
何なのだろう…？



この子供は  
少々痛めつけ  
すぎたな…

少し治癒を  
施すか…

ホム



…そうか  
それは良かった…

王にお褒め  
頂けるならば  
『生かさず殺さず』…  
苦勞して生き存えさせる  
甲斐があるな

…貴様も存分に  
愉しんでいるクセに  
よく言う！

ハハ



さて

具体的には

そうだ  
ヒトの欲望と傲慢は  
計り知れないな

強制給餌による  
肥育……  
だったか？

鴨やガチヨウの雄を  
無理矢理に太らせ  
病気にするのだ  
肝臓を脂肪肝にして  
肥大させる……

トリが運動すると  
痩せてしまうからな  
狭い飼育小屋に身動き取れぬ  
ように押し込み……  
口から金属のパイプを  
無理に差し込み  
大量の餌を流し込むのだ

足下は地面ですらない  
目の荒い金網だ  
排泄物はそのまま下に  
垂れ流し  
水かきは金網で傷付き  
自重で痛めつけられる……

強引で雑な挿入で喉に  
怪我を負うことも多いな……  
傷が膿んで腐り落ち  
出荷前に死ぬことも多い

立つことも後ろを向くことも  
羽根を伸ばすことすら  
ままならぬ狭さの檻の中……  
拷問のような  
日に数回の強制給餌——  
不自然に醜く肥大した  
病を味わうのだ

酷いものだ  
『世界三大珍味』など  
とは  
良くもまあ……

だが  
美味しいのであろう？

人間の業とは  
醜悪なものよ……

痛ましい生贄だ

……さて

■■■■よ  
お前が大切に  
していた  
クマのぬいぐるみ  
だぞ？

我がわかるか？  
案ずるな  
我がここに  
いるのだ

お前は良い子だな  
逆境に負けるな  
強く生きよ

どうしたのだ  
ギルガメッシュ  
聖母ごっこか？

綺礼  
この我を  
二千六百年も後に生まれた  
処女に例えるとは  
無礼だぞ

ただひたすらの哀哭と  
絶念より……  
縋るための  
僅かな希望とがあつた方が  
抽出される魂も鮮烈な  
甘露となるろう？

貴様はせいぜい  
我への上質な魔力の  
献上に励めよ

……ふむ  
善処しよう



アハ

我はもう  
子供の姿に戻るぞ

フン……



我が儘な王の  
ためにな

力を無くし瘦せ細った腕を 縮れきって音を発せぬ萎びた唇を  
薄萌黄にひからびた長い髪を 蛆虫が這い回り食い散らす耳障りな音を  
立ち籠める吸えた死の匂いを



またな  
言峰



当分の間は  
我は戻らぬ

